学校番号	T0203

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれからの生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
身近な事柄をきっかけに、経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について学びます。また、実習やグループワークを通して基礎的な技術を身につけることを目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域の生活課題を見出し、自分なりに考え、表現することができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	経済生活を営む	多様化する消費生活の現状と課題を理解する	a:契約や消費者問題に関する正しい知識を身につけている b:消費者であることを主体的に捉え自身の考えを持つことができる c:消費生活について興味・関心を持てている	定期考査	プリント 定期考査	プリント
		契約や消費者信用の意味と実態を理解する				
		家計と社会とのかかわりを考える				
	衣生活をつくる	エプロン製作を行い衣生活と環境のかかわりを考える	a:実習を通して、衣生活と環境のかかわり関する正しい知識を身につけている b:衣生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c:衣生活について興味・関心を持てている	実習作品	実習作品 プリント レポート	プリント レポート
後期	衣生活をつくる	被服材料について学ぶ	a:衣生活に関する正しい知識を身につけている b:衣生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c:衣生活について興味・関心を持てている	定期考査	定期考査 プリント	プリント
		衣生活の計画について理解する				

	食生活をつくる	献立調理実習を行う （和食・洋食・中華）	a:食生活に関する正しい知識を身につけている 実習を通して、調理の基本的な技術が身についている b:食生活を主体的にとらえ、食事計画を立てることができる c:食生活を主体的にとらえ、食事計画を立てることができる	定期考査	プリント 定期考査 レポート	実習 プリント レポート
		五大栄養素のはたらきと多く含む食品の特徴を学ぶ				
		食事計画について理解する				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度